

採用企画「心の架け橋つなげよう ～アニマルセラピーへの取組み」

(代表者 高橋 玲子)

企画概要

不登校傾向にある学生にアニマルセラピー（馬と接すること）によって、人とふれあい心を通い合わせることの素晴らしさ、自分は必要とされているということを感じてもらう。

活動状況

開催日時：平成17年9月6日、8日、13日、15日、20日

(ただし、9月6日は台風のため中止)

実施場所：京都産業大学総合グラウンド内馬場

参加者数：約30名（ふれあいの杜の生徒、スタッフなど）

実施内容：

9月 8日（木） 馬にふれてみる

- ・馬の体の構造を実際に触れて学ぶ
- ・馬に乗って（曳き馬）馬の体高を実感する
- ・馬をやわらかいブラシでこすったり、餌をあげて友達になる

9月13日（火） 馬に慣れる

- ・馬に乗るための手入れをしたり、馬具を装着して馬に慣れる
- ・馬に乗って歩いたり、止まったりする合図（扶助）を学ぶ
- ・調馬策で学んだ扶助を実際に使い馬を動かす

9月15日（木） コミュニケーションをとる

- ・乗った後に手入れをし、より馬と友達になる
- ・人と馬に対してのコミュニケーション
- ・立食パーティーや他のスポーツを通して、部員との交流をはかる

9月20日（火） 成果発表

- ・馬に乗り合図（扶助）を理解してくれる面白さを感じてもらう
- ・ジムカーナ競技（常歩や軽速足でコースに設置された横木を通過する）を通し、馬との協同作業の喜びを感じてもらう
- ・手入れを通し馬に感謝の気持ちを伝える

感想

この企画も今回で3回目となりました。前回と比較して一番違った点は、私達が思っていた以上に生徒達が積極的だったことです。生徒達は人と触れ合うことは不得意でしたが、回数を重ねるにしたがって、生徒達の方から進んで話しかけてくれるようになりました。

また、今回は部員が事前にふれあいの杜に研修に行きました。それは、私達がふれあい教室を実施する前に生徒達の現状を知ることや接し方を教えていただくことでスムーズにふれあい教室を行えるようにしたいと考えたからです。

実際、研修の効果もあり非常にスムーズに実施することができたと感じています。3回目の交流会では、立食パーティーをして普段の私生活の話をしたり、スポーツをして交流をはかりました。こうして馬を介さず違ったかたちで生徒達との仲を深めることができました。

今回の一番の成果は、参加していた生徒の中で何人かが学校に行けるようになったことです。一方、まだ学校へ行けない生徒達もふれあい教室を通して、「やろうと思えば何でもできると感じ、何事にもチャレンジするという心が生まれている」とスタッフの方から聞いています。

私達にとっても生徒達とのふれあいの中で相手のことを思いながら人と接することの難しさとそのことの重要性を改めて考えさせられる活動となりました。

そして、この活動を通して私達自身も成長することができたらと思います。